

エコマークアワード

# 私どもの取り組みについて

全12枚

[www.yamashita-kogei.com](http://www.yamashita-kogei.com)

2012年より、弊社が推進するソーシャルビジネス

## 「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」

の製品である**竹箸製品5種類**が、エコマーク認定いただいています。



間伐材・放置竹林  
グリーンプロジェクト

エコマーク認定番号  
第12128003号  
株式会社山下工芸

エコマークとは、財団法人日本環境協会が「環境保全に役立ち、環境への負荷が少ない」と判断した商品につけられるマークです。

1



272143  
スス竹角弁当箸  
19.5cm

2



27434  
白竹新客箸  
22cm

3



27433  
スス竹新客箸  
22cm

4



276721  
白竹節無箸  
23cm

5



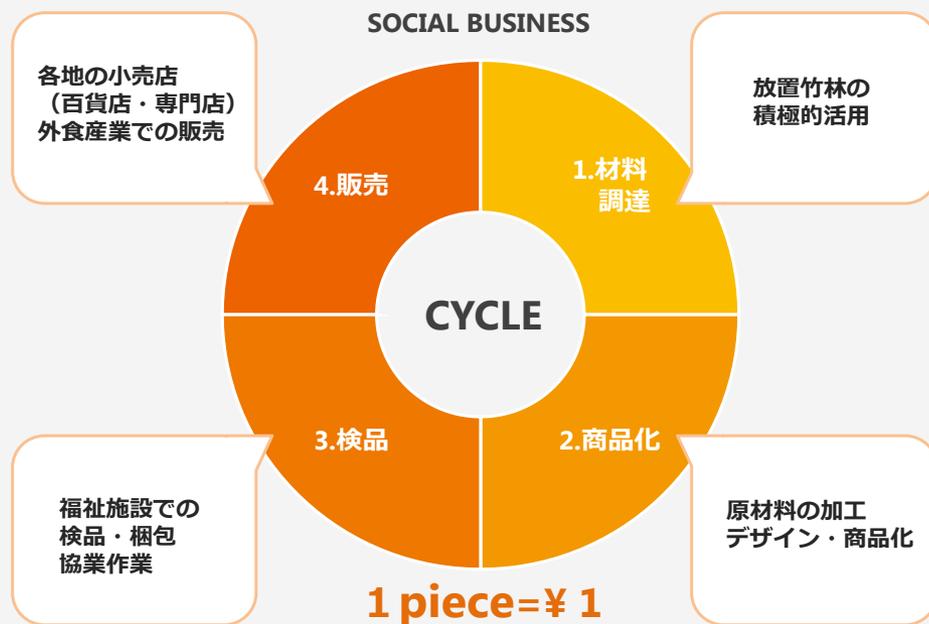
276722  
スス竹節無箸  
23cm



# 弊社のソーシャルビジネスについて

## 間伐材・放置竹林 グリーンプロジェクト

土砂崩れなどの災害や生態系を崩す原因となる放置竹林の竹や、資材としての価値を持たず産業廃棄物となってしまう間伐材を有効利用し、森林資源の浪費や放置竹林の拡大を防ごうとする**環境保全プロジェクト**。  
テーブルウェアやハウスウェアなど様々な製品を企画・生産しています。



弊社(SB)の取り組みは経済産業省のケースブックに掲載していただきました。



間伐材・放置竹林の活用



原材料の加工・商品化

# 参照画像

経済産業省のケースブックに掲載していただきました

## CASE105 間伐材・放置竹林活用グリーンプロジェクト（大分県）

企業のソーシャルビジネス展開

環境

### 事業主体

- 株式会社山下工芸

### 事業概要

株式会社山下工芸は、常に天然素材と向き合い、生活スタイルにあった商品を開発することを目指している。未活用の放置竹材等を素材とした商品を開発し、里山の荒廃などの社会問題を訴える取り組みを実施している。天然素材利用の商品を世界最大規模の消費財見本市であるAMBIENTE出展したことを皮切りに、中国事務所を開設し、日本の伝統美を海外へ紹介する取り組みを実施。国内においては、NPO法人里山を考える会と連携し、北九州市エコライフプラザで製品を出品する等、ソーシャルビジネスの観点もとりいれながら事業を展開している。

### 事業のポイント

- ★ 天然素材に関心のある消費者や外食企業に積極的にPR
- ★ 里山の荒廃など社会問題をホームページ等で紹介
- ★ 企業の枠を超えたビジネスマッチングを意識

### 事業の課題と成果

- ・放置竹材による里山や森林の荒廃
- ・竹林や間伐材を活用した商品を開発し、ユーザーやファンを増やす

### 事業モデル





# 事業コンセプト

弊社事業コンセプト 「**自然で自然を支える**」  
未活用材を活かした商品開発とPR活動に力を入れています。



# 竹の現状



## 1 生長のスピードが速い

### 旺盛な繁殖力

・ 2～3カ月で約13～15mまで成長（3年で成竹）

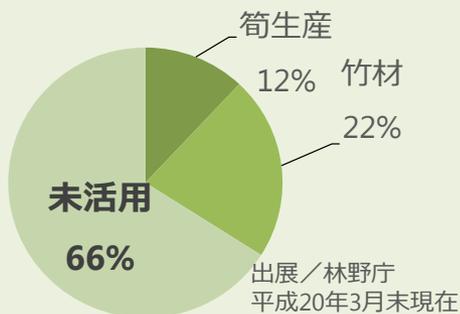
竹はネット状に周囲に広がり、次々と繁殖していく

・ 樹木を伐採するよりも効率よく資源の調達ができる



## 2 日本の竹林はほとんど未活用

【全国の竹林面積利用状況】



## 3 従来の森林減少・森林浸食

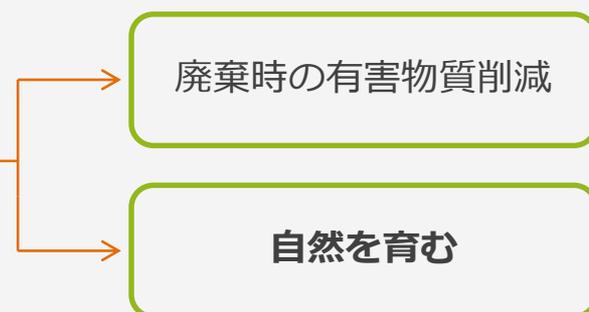
・ 里山の自然が生命力の強い竹により浸食されてしまい、従来の生態系が崩れる

・ 地盤の緩み → 土砂災害増加

➡ 里山の荒廃へ繋がる

- ・ 材料に不足することがない
- ・ 未活用の竹は使えば使うほど環境に優しい

➡ 天然のエコ素材

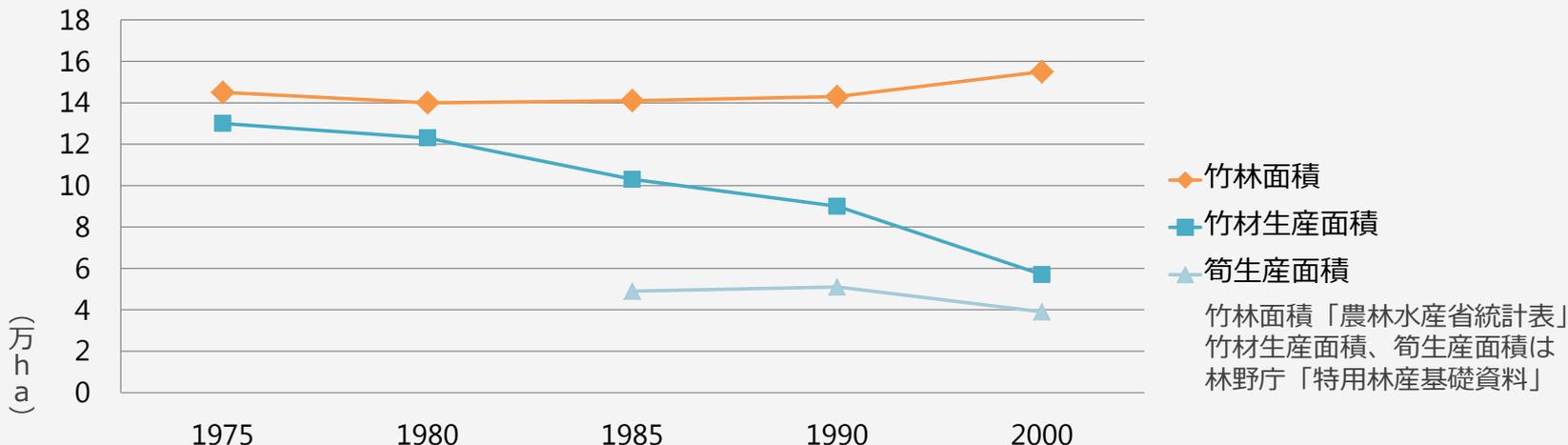




# 竹林面積の拡大 | 放置竹林

国内では主に九州を中心に、  
竹林の面積が拡大している傾向にあります。

## 竹林面積の推移



## 〈拡大の要因〉

林業の衰退

### 国産竹材の需要低下

- ・ 樹脂製品の普及
- ・ 輸入竹製品の増加
- ・ 輸入木材の利用

### 管理者の減少

- ・ 伐採作業の重労働
- ・ 管理者の高齢化
- ・ 林業の後継者不足

増加  
放置竹林の



# 竹林および森林環境保全のための課題

- 1 放置竹林問題、里山荒廃問題、代替素材問題を解決するための竹材、エコ素材の普及及びPR
- 2 竹材の多目的使用のための加工方法の開発
- 3 竹林管理者の育成  
また、管理を行うための**循環型システム**の構築



社会的課題をビジネス化

「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」



# 「1piece=¥1 プロジェクト」

# 1piece=¥1

For nature & for friends

間伐材・放置竹林  
グリーンプロジェクト商品を  
1点ご購入頂く毎に1円を  
環境保護団体または  
ボランティア団体へ寄付致します。

## これまでの主な活動実績

- ・赤十字団体、環境保護団体への寄付
- ・プロジェクト商品を取り扱って頂いているお客様が運営しているボランティア団体への寄付

### ● 事例：株式会社 梅の花様との協業

一年に一度、購入していただいた箸の本数×1円を出し、ボランティア団体に寄付しております。

弊社エコマーク箸を使って頂き2014年は

**135,685円**をタイの学校へと寄付させて頂きました。

〈プロジェクト商品（箸）の販売実績推移〉





# 福祉施設での検品・梱包作業

## 社会福祉施設への委託

- ソーシャルビジネスの一環として**2006年より社会福祉施設と協業**し、生産した商品の検品・梱包作業を行い、施設利用者の働く機会を支援しております。
- 最近では協力施設が増え、商品加工の一部を委託できるようになりました。

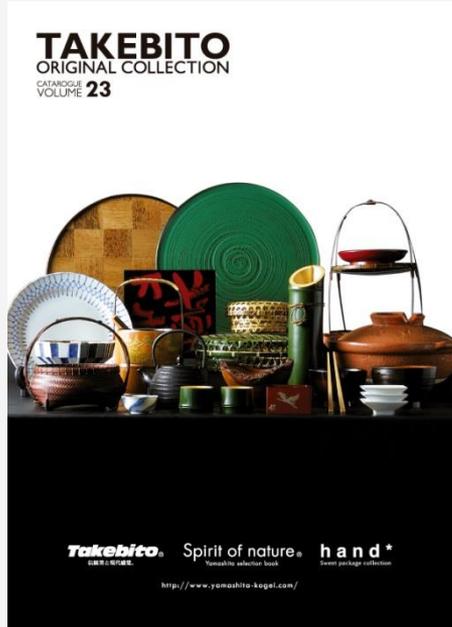
- 事例

大分県別府市に本社をかまえる  
社会福祉法人 太陽の家様  
等と協業させていただいております。





# エコマーク商品の認知度向上、市場普及推進への取り組み



自社総合カタログ「TAKEBITO」

カタログ特設ページ

エコマーク商品ページ

## カタログ

ホテル・レストラン・外食産業向けの業務用製品として展開し、展示会への持ち込みや卸業者への販売促進活動を行い市場への積極的な普及促進に取り組んでおります。

## SB活動

間伐材・放置竹林を、世の中の役に立つ天然素材としてプロダクト

環境の保全や社会福祉への貢献として活用する

## CSV活動

私たちが提供する価値のあるものを世の中に広め、みなさんで価値をシェアしていただけるように働きかける

## 継続性

エコマーク取得から5年で約40万膳販売

## イノベーション

今後も放置竹林・間伐材を使用したエコ商品の普及のため、天然素材に付加価値を与える技術の開発を進めていきます。

(例)

- ・天然素材のガラスコーティング
- ・九州を中心とした産学間で連携した国産割箸の復活 等

お客様とともにこれからも放置竹林や間伐材など社会の課題と向き合い、製品を提案していきます。